

デザイナー

那須塩原市社会福祉協議会

生活支援課生活相談係
相談支援包括化推進員

大木 美穂 氏

ふだんのくらしからみる社協のお仕事



皆さんが考える「ふくし」とは？子どものこと、高齢者のこと、災害時、どれもこれも「ふくし」です。これこそが「ふくし」という正解はない。困っている人だけに必要なもの???ふくしとは私自身もあなたも幸せな地域づくりをすることです。



まずはデザイナーの大木さんの自己紹介と、参加者の皆さんの自己紹介から。年齢も立場も違えば、参加の理由もそれぞれの皆さんが社協のお仕事についてトークしました。



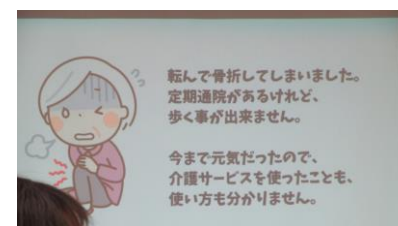
困ったら社協という言葉がこころの支えになります

声を上げられない人をどうサポートしていくか？今後の課題も見つかりました。



社協のお仕事は大きく分けて3つ

- ・相談支援
- ・3か所の福祉事業所
- ・ボランティアセンター



市内のマップを見ながら「こんな困った人がいます。さあどうしよう？」みんなで考えます。具体的な例があるとイメージができます。

困っている人と、ボランティアをしたい人が社協のサポートで繋がりました。

社協って？地域福祉って？という身近でありながらも、知っているようで知らなかったテーマを分かりやすく説明していただきました。一人の困ったが、誰かに会うこと、繋がること、話すこと、聞くことで多くの地域資源が得られ、解決に繋がります。多くの情報量と、ボランティア、地域の人、自治会との繋がりがこそが社協の強みであり、地域づくりであると思いました。

ランドセル、制服バンクはありますか？